

次世代地域公共交通ビジョンに基づく取組

「人をつなぐ」「地域をつなぐ」「未来へつなぐ」
徳島ならではの地域公共交通ネットワークの実現を目指して



I 次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョンの骨子

ビジョンが目指す3つの柱

1 公共交通の最適化

2 利便性の向上

3 利用促進

6つの処方箋

① モーダルミックスの推進

- ・並行、重複路線の解消
- ・パターンダイヤの導入
- ・駅等を中心とした乗り継ぎネットワークの構築 等

③ つなぐ仕組みの構築

- ・公共交通のオープンデータ化
- ・配車システムの実装

⑤ 新たな需要の創出

- ・フリー乗車券の導入
- ・インバウンド向け企画乗車券の発行 等

② 新たな運行形態の導入

- ・コミバス、タクシーとの連携
- ・スクールバス、福祉バスの活用
- ・自家用有償旅客運送の活用 等

④ 交通結節点の環境整備

- ・利用者の“多様性”に配慮した環境整備
- ・駐車場、駐輪場の整備

⑥ 地域で支える意識の醸成

- ・利用啓発イベントの開催
- ・マイレール・マイバス意識の醸成

徳島ならではの地域公共交通ネットワークの実現へ！

I 次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョンで示す「役割分担」と「連携」

県の役割

- ・ 市町村を跨がる**広域的な移動手段**を関係者と連携し維持充実
- ・ 広域的な見地から**必要な助言や支援**
- ・ 複数市町村が連携する交通計画に主体的に関わり市町村をサポート
- ・ 国への政策提言

市町村の役割

- ・ 地域にとって最適な地域公共交通の確保に向けた**仕組みづくりや計画策定**
- ・ **地域内の公共交通**の維持・確保・充実
- ・ 地域の実情を踏まえ、まちづくりと一体的な取組の推進
- ・ 駐車場やトイレ整備など駅やバス停周辺の利用しやすい環境づくり

国の役割

- ・ 地域取組に対する**財政的支援や人材育成、情報提供**

交通事業者の役割

- ・ 地域のニーズに応じた**安全で便利なサービスの提供**と質の向上
- ・ **利用者ニーズの把握**や情報提供
- ・ 行政への協力
- ・ 運転手の処遇改善(担い手の確保)

県民の役割

- ・ 当事者意識を持って**積極的に利用**
- ・ 利用者の視点で、課題や必要な取組の提案

県が調整役となり「徳島県生活交通協議会」の枠組を活用して連携

II ビジョンに基づく取組

処方箋1

モーダルミックスの推進

徳島バス南部、JR四国 ほか

牟岐線におけるモーダルミックスの取組

○実証事業の概要(R7.7.5 ~ R8.2.28)

対象: 牟岐駅～阿波海南駅間のJR通学定期券を持つ学生

内容: 並行する徳島バス南部の路線バスを利用可能

効果: 利用可能な本数が22本から**42本へ増加**

実績: 延べ1,929名(1日平均8.1名)

※JR四国「5ヵ年推進計画」の総括検証に向けた実証事業として実施

○令和8年3月以降の継続実施(社会実装)

・学生の皆様から好評を得ていたことから、

県が調整役となり継続を決定

・**牟岐町と海陽町が実費を負担し、**

県がその一部を補助する仕組みで「実装」へ

牟岐駅～阿波海南駅間の
JR通学定期券
をお持ちの方は

**徳島バス南部を
ご利用いただけます！**

バス路線がJR通学定期券で利用可能となることで、
牟岐駅～阿波海南駅間の移動機会が増加します！

POINT① 列車のない時間帯でも
バスの利用が可能に！

POINT② JR+バスで上り・下り
合計**42本**に！

ご利用いただく際は、利用票への
事前記入が必要となります。

●徳島バス南部
牟岐線（牟岐～海陽高校前）
○JR四国
牟岐線（牟岐～阿波海南）

●対象となるJR通学定期券は、
通学定期券（JR四国チケットアプリ「スマえき」を含む）
となります。

●列車やバスの遅延によりお乗り換えできない場合があります。
●対象区間を超えてバスをご利用される場合は乗り越し乗降を
してください。

●バスが定員に達した場合は乗車不可場合があります。

お問合せ 徳島バス南部 牟岐営業所
(8:00～19:00)
TEL 0884-72-0004

<JR通学定期券、JRきっぷ、JR時刻については>
JR四国電話案内センター (8:00～19:00 無休)
TEL 0570-00-4592

II ビジョンに基づく取組

処方箋2

新たな運行形態の導入①

海陽町、上板町

海陽町 突喰地区デマンド交通の予約制実証運行 (実証運行: R8.1.5～R9.9.30)

町営バスの代替交通として、バスよりも小型な車両で効率的な運行が可能な交通モードを導入

- 対象: 町内外問わず誰でも利用可能
- 事前登録し、当日の乗車30分前までに電話で乗降場所を指定し予約



運行実績・成果

利用状況 (R8.1.5～R8.2.26 [37日間])

運行回数	61回 (1日約1.6回)
利用者数	65人 (1日約1.8人)
登録者数	95人
乗合率	約1.06人

- 運転免許証を保有していない高齢者の利用が最多であった
- 利用目的としては、医療機関へのアクセスが多く、次いで商業施設の利用や路線バスの乗継であった

【効果】

利用者からは「通院・買物の利便性が向上した」等の声があがった

事業経費

収入

- ・運賃収入
- ・自治体負担
- ・国補助金

支出

- ・調査・分析費
- ・システム導入費
- ・車両・設備関連費
- ・運行経費
- ・広告宣伝費

総事業費: 34,959千円

上板町 社会福祉協議会による買い物支援サービス (運行期間: R7.7～R8.3 ※R8年度も継続運行予定)

上板町全域を4エリアに分け、月2回(隔週木曜日)利用者の自宅から指定商業施設までの送迎・買い物支援

- 運行主体: 上板町社会福祉協議会
- 対象: 町内に住む移動手段がない高齢者など



電話受付 → 利用者宅訪問 → 商業施設到着 → 買物終了



	神宅地区
第1エリア	◆毎月第1木曜 10時～11時買物 ◆毎月第3木曜 14時～15時買物
第2エリア	西分地区 桂本地区 下六条地区 佐藤塚地区 第十新田地区 ◆毎月第2木曜 10時～11時買物 ◆毎月第4木曜 14時～15時買物
第3エリア	上六条地区 高磯地区 高瀬地区 瀬部地区 ◆毎月第1木曜 14時～15時買物 ◆毎月第3木曜 10時～11時買物
第4エリア	鍛冶屋原地区 七條地区 引野地区 泉谷地区 ◆毎月第2木曜 14時～15時買物 ◆毎月第4木曜 10時～11時買物

新たな運行形態の導入②

徳島県

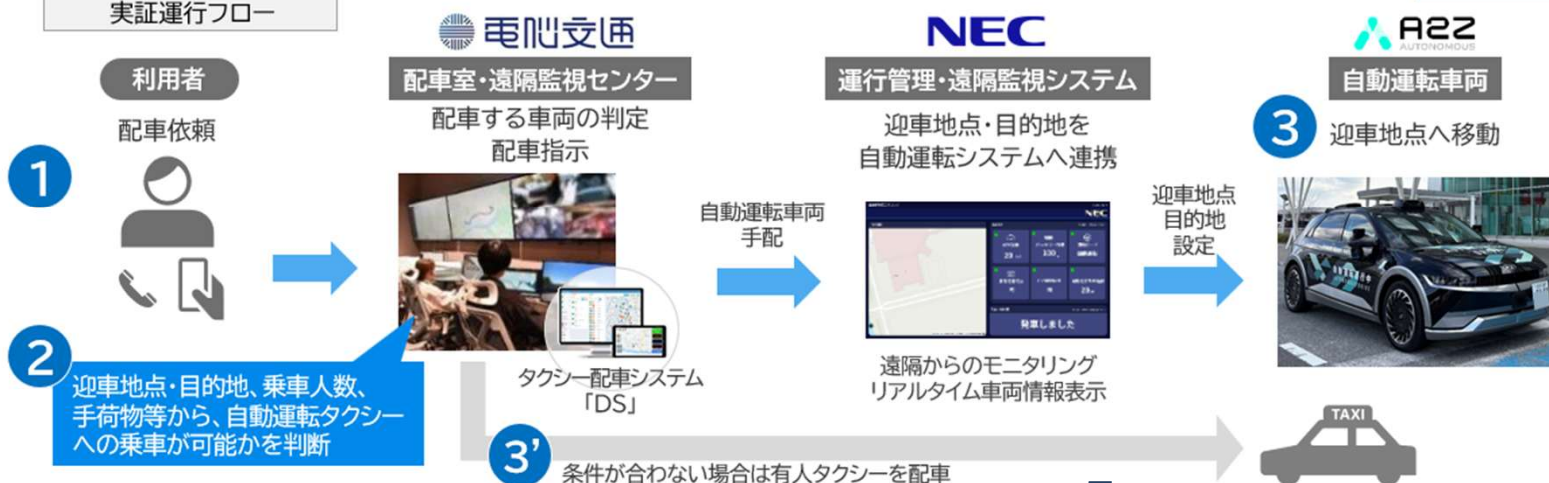
徳島県 自動運転タクシーの実証運行 (実証運行: R8.1.19~R8.3.31)

自動運転タクシーを導入することで、タクシーサービスの供給体制の充実に
図るとともに、持続可能な公共交通ネットワークの構築を図ることを目指す
○乗車当日に電話予約をし、条件が合えば配車

運行ルート	鳴門市西部を中心とするエリアから選定 ([きんときタクシー]の主な運行エリア) 東西約10km×南北約3km
運行ダイヤ	オンデマンドのためダイヤはなし 営業時間は8時~19時の中で運行
運行期間*1	令和8年1月19日~令和8年3月31日(1月19日~2月4日までのプレ運行含む)
交通事業者	株式会社旅サポート(きんときタクシー)



実証運行フロー



【利用者の感想】

- ・自動運転車であることを忘れるぐらい、自然な乗り心地だった。
- ・普通のタクシーと同じように予約できるから便利だった。

つなぐ仕組みの構築（デジタル化・キャッシュレス化の推進）

徳島バス ほか

路線バスへの交通系ICカード「ICOCA」の導入

- 徳島バス、徳島市交通局が運行する路線バスと徳島空港リムジンバス、徳島バス南部の丹生谷線で、交通系ICカード「ICOCA(イコカ)」を導入(R8.3.17～)

- ・利用者の利便性の向上、運転手の運賃収受業務の省力化等、路線バスの効率的な運行に繋がる設備導入を支援



路線バスで 3月17日(火)から 交通系ICカードが利用できます！

3月17日から徳島バス、徳島市交通局が運行する路線バスと徳島空港リムジンバス、徳島バス南部の丹生谷線で、交通系ICカード「ICOCA(イコカ)」が使えるようになります。ICOCAの導入により、運賃を現金で払う手間を省くことができ、小銭の用意や両替を気にすることなく、バスをご利用できます。また、ICOCA以外の全国相互利用可能な交通系ICカードやモバイル端末でも使用できます。ICOCA(カード)の販売場所や詳しいサービス内容については、徳島バスのホームページをご覧ください。



- サービス開始日: 令和8年3月17日(火) 始発より利用可能
- 対象路線: 徳島バス(高速バスを除く)、徳島市交通局、徳島バス南部(丹生谷線)の路線
- 利用方法: 乗車時と降車時にICカードを専用の読み取り部にタッチするだけでバスをご利用できます。あらかじめ現金をチャージしておくことにより、乗車区間の運賃を自動的に精算します。

【乗車時】

乗車口付近の青色のリーダーにICカードをタッチ！



【降車時】

運賃箱の黄色のリーダーにICカードをタッチ！



【バスICOCA定期券について】従来の紙の定期券(長生き定期券、株主定期券を除く)の販売が終了となり、バスICOCA定期券に変わります。なお、購入済みの紙の定期券は有効期限まで利用可能です。また、バスICOCA定期券は従来の区間式から金額式に変わるため、幅広くご利用いただけるようになります。ICOCA導入に伴い回数乗車券の販売を終了いたします。詳しくは各社のホームページをご覧ください。

【問】県交通政策課
☎088-621-2686 ㊟088-621-2832

※「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。



交通結節点の環境整備等

徳島空港ビル、タクシー事業者

タクシーへの配車アプリ導入

○配車アプリの導入により、国内外の来訪者でも直感的な配車手配が容易となり、観光およびビジネスにおけるシームレスな移動環境を実現

- ・利用者の利便性向上と、事業者の経営改善に有効
- ・県内でも令和7年度中に、約170台のタクシー車両に導入済み



徳島阿波おどり空港に「予約タクシー・アプリ配車専用乗場」を新設

○徳島阿波おどり空港に配車アプリからの注文に対応するタクシー乗り場を設置
(R8.3.21～)

- ・県外や海外からの来県者が配車アプリを通して、空港からタクシーで移動しやすい環境を整備



担い手の確保

国、徳島県、交通事業者

地域公共交通における担い手不足を改善するため、**人材確保の取組を支援**

路線バス事業者 向け

- ・就職説明会や運転体験会の開催
- ・大型二種免許取得助成等



バスの運転体験会



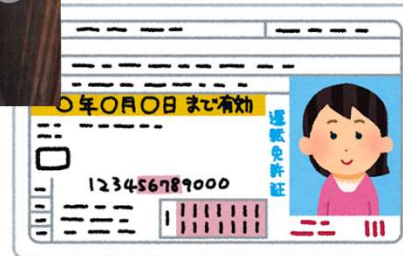
バス運転体験会

タクシー事業者 向け

- ・二種免許取得助成
- ・就業環境の充実（事業所の男女別トイレや女性用更衣室・休憩室の整備等）
- ・外国人ドライバー採用時の二種免許取得等への助成



運転手の待機環境整備



二種免許取得助成

鉄道事業者 向け

- ・採用説明に係る学校訪問への協力
- ・学生向け職場見学会への協力
- ・県主催の移住相談会就職説明会での求人情報の発信



採用説明に係る学校訪問



JR四国職場見学会



○徳島県次世代地域公共交通ビジョンURL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kendozukuri/doro/5033535/>

○徳島県次世代地域公共交通ビジョン推進委員会URL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kendozukuri/doro/5043802/>

○徳島県地域公共交通協議会URL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/kendozukuri/doro/5051599/>

徳島県 交通政策課

